

仕 様 表
RUA-GP332HLN
RUA-GP332HLNM

空冷式熱源機（空冷ヒートポンプ）

ポンプレス機・高COPタイプ

冷 却 能 力 ^(注1)					力 ^(注1)		(kW)		118		電 源 配 線 続 筒 所	各モジュール内電源接続端子台 (M10)							
冷 却 能 力 ^(注1)					力 ^(注1)		(kW)		118			基 準 電 流 (A)		137					
C O P ^(注1)					冷 却 時				6. 07 (5. 93)			電 源 容 量 ^(注15) (kVA)		47. 5					
					加 熱 時				3. 80 (3. 72)										
I P L V ^(注1)									6. 8			電 源 配 線		IV線	こ う 長20m以下 (mm ²)	60			
外 観 形 寸 法					塗 装 色		シルキーシェード (マンセル1Y8. 5/0. 5)		2350						こ う 長50m以下 (mm ²)		60		
														幅 ^(注2) (mm)			1000		
														奥 行 ^(注2) (mm)			3300		
製 品 質 量 (kg)									1298			電 源 配 線 太 さ (mm ²)		ア ー ス 線 太 さ (mm ²)		8			
運 転 質 量 (kg)									1334					手 元 ス イ ッ チ (A)		200			
電 気 特 性 ^(注1)	電 源 ^(注1, 3)		3相 200V 50/60Hz				3相 200V 50/60Hz				^(注14)	電 源 ヒ ュ ー ズ (A)		150					
			運 転 電 流		冷 却 時 (A)	(A)	56. 7 (58. 0)	漏 電 遮 断 器 容 量 (A)		150									
	加 熱 時 (A)	(A)			90. 5 (92. 5)	漏 電 遮 断 器 感 度 電 流 (mA)		200											
	消 費 電 力		冷 却 時 (kW)	(kW)	19. 4 (19. 9)														
			加 熱 時 (kW)	(kW)	31. 1 (31. 7)														
力 率		冷 却 時 (%)	(%)	99															
		加 熱 時 (%)	(%)	99															
圧 縮 機	形 式				全密閉ロータリ式														
	電 動 機 出 力 (kW)				6. 9 x 4														
	始 動 方 式				インバータ始動														
	ケ ー ス ヒ ー タ (W)				37 x 4														
冷 凍 機 油		種 類				RB74AF													
		充 填 量 (L)				2. 3 x 4													
空 気 熱 交 換 器									プレートフィンコイル										
送 風 装 置	送 風 機				プロペラファン														
	風 量 (m ³ /min)				1230 (最大値)														
	始 動 方 式				インバータ始動														
	電 動 機 (kW)				1. 2 x 4														
散 水 装 置 ^(注4, 12)	散 水 量 (L/min)				13. 6 x 1														
	給 水 圧 ^(注5) (MPa)				0. 2														
	水 温 範 囲 (°C)				10 ~ 30														
	設 定 外 気 温 度 (°C)				20 ~ 40														
	制 御 方 式				設定圧縮機容量以上かつ設定外気温度以上にて連続散水														
冷 温 水 ^(注6, 12)	水 熱 交 換 器				プレート式 (SUS316相当)														
	水 圧 損 失 (kPa)				19. 1 (35. 8)														
	標 準 流 量 ^(注1, 10)	冷 却 時 (L/min)	(L/min)	242 (338)															
		加 熱 時 (L/min)	(L/min)	242 (338)															
流 量 範 囲 ^(注7) (L/min)				150 ~ 600															
系 内 最 小 保 有 水 量 ^(注8) (L)							564 (846)												
冷 媒	種 類				R32														
	封 入 量 (kg)				8. 8 x 4														
	制 御 方 式				電子膨張弁														
容 量 制 御 ^(注9) (%)							0. 6~100												
運 転 調 整 装 置							マイコンによる 冷温水温度制御および流量制御												
除 霜 方 式							分散型逆サイクル方式												
使 用 範 囲 ^(注10, 11)	冷 温 水 出 口 温 度		冷 却 時 (°C)	(°C)	4 ~ 30														
			加 熱 時 (°C)	(°C)	25 ~ 55														
	外 気 温 度		冷 却 時 (°C)	(°C)	-15 ~ 52 DB														
			加 熱 時 (°C)	(°C)	-15 ~ 21 DB														
保 護 装 置	高圧スイッチ、過電流保護、インバータ過負荷保護 (圧縮機、 ファン)、 ケースヒータ、欠相保護、ヒューズ マイコン (圧縮機タイムガード、凍結防止、高温水防止、低水量、 吐出温度、低圧保護、センサ異常、水圧異常)																		
	配 管 口 径	冷 温 水 入 口 (A)	(A)	65フランジ x 1 (JIS10K)															
		冷 温 水 出 口 (A)	(A)	65フランジ x 1 (JIS10K)															
		コ イ ル ド レ ン 口 (A)	(A)	PT40オネジ x 1															
ポ ン プ ド レ ン 口 (A)				-															
騒 音 値 ^(注13) (測定位置：距離1. 0m、 高さ1. 5m)			コントロール ボックス側		(dBA)	62. 2													
			空気熱交換器側			63. 5													
			水配管側			64. 7													
法 定 冷 凍 ト ン (トン)							17. 98												
高 圧 ガ ス 保 安 法 手 続 区 分							不要												

(注1) 能力・電気特性および標準流量は、下記条件時の値です。

冷却：冷水入口 14℃/出口 7℃、 外気 35℃DB、24℃WB、給水温度21℃ 電圧200V
加熱：温水入口 38℃/出口 45℃、 外気 7℃DB、6℃WB、 電圧200V

() 内の値は上記と同じ能力における下記条件時の値です。

冷却：冷水入口 12℃/出口 7℃、 外気 35℃DB、24℃WB、給水温度21℃ 電圧200V
加熱：温水入口 40℃/出口 45℃、 外気 7℃DB、6℃WB、 電圧200V

標準流量は出入口温度差＝5～10℃の範囲内としてください。

IPLVは、IPLVc(冷却IPLV)を表示します。

能力・性能は、JRA4066に基づく値を示します。

現場の施工状況により力率が変化する場合があります。

(注2) 外形寸法には、水配管接続部などの突出分は含まれていません。

(注3) 電源電圧は変動があった場合でも、±10%以内を超えないようにし、
電源電圧間の不平衡は2%以内としてください。

(注4) 給水の水质により、コイル表面にスケールが付着する場合があります。
必要に応じ、給水側に軟水器を取付けるなどの対策を行なってください。
(現地手配)

(注5) 散水装置入口にある流量調整用手動バルブにより、この給水圧になる
ように流量調整してください。十分な給水圧が得られない場合は、
加圧ポンプを取付けてください。(現地手配)

(注6) 水回路常用圧力：0. 98MPa以下

(注7) 流量範囲は、モジュール1台分の最低流量から最大流量です。

(注8) 保有水量の計算は、バイパス経路等も考慮した配管流路で最も水量が
少なくなる部分で計算してください。表中の保有水量は、水出入口設計
温度差7℃の場合の値、() 内は5℃差の場合の値です。
表記の保有水量は、運転中に急激に無負荷となった場合でも安全に
停止させるために必要な水量です。

(注9) 運転条件により、容量制御範囲は異なります。

(注10) 始動後 1 時間は通常の使用範囲より高い冷水出口温度 (冷却時、上限35℃)
または低い温水出口温度 (加熱時、下限20℃) で運転可能ですが、それ以降は
使用範囲内となるよう、必要に応じて冷温水回路のバイパス等により対応
してください。

(注11) 加熱時、外気温度により温水出口温度に制限があります。

(注12) 水质基準項目および基準値については、日本冷凍空調工業会 “冷凍空調
機器用水質ガイドライン” (JRA-GL-02-1994) を満足してください。

(注13) 騒音値は反射音の少ない場所で測定したものです。実際の据付状態では
周囲の騒音や反射の影響を受け、表示値より大きくなります。

(注14) 漏電遮断器は必ず設置してください。本機はインバータ装置を有しています
ので、誤動作防止のために高調波対応品を使用してください。

(注15) 変圧器や発電機を選定する際には、インバータによる高調波電流の発生に
伴なう損失を考慮した容量を選定する必要があります。高調波電流の発生に
伴なう損失を考慮した必要な容量については、変圧器や発電機のメーカへ
ご確認ください。
電源トランスを他の機器と併用する場合は、高調波ガイドラインに
示される各機器の換算係数Ki 値によってキュービクル容量を
算出して選定してください。
電源容量は製品のための必要最小容量を示しております。

(注16) モジュールコントローラ (MC) は弊社工場にて組み込みます。
形名にMが付くものにモジュールコントローラが内蔵されており、
連結されるモジュール (最大16モジュール) の内、1モジュールが
必要となります。

(注17) 全モジュールに連結金具が付属されています。(MC内蔵機を除く)